

平成29年度 探究科学科三校合同課題研究発表会

平成29年12月23日（土）富山国際会議場
10:00～11:00 開会式 代表発表
11:10～12:10 ポスターセッションⅠ
12:10～13:10 交流会
13:15～14:15 ポスターセッションⅡ
14:30～15:10 閉会式



開会式では本校代表として、物理班が「魔球の科学」のテーマでプレゼンテーションを行いました。ポスターセッションでは、22の研究班のいずれもが、高校生だけでなく来場頂いた多くの方々に対して発表をおこない、盛んに質疑応答を行いました。1月27日の課題研究発表会に向けて、更に研究を進めていきたいと思えます。閉会式では各校代表生徒による感想を聞き、東京大学教授 濱中淳子先生の講評がありました。

感想 生徒の振り返りから

- * 相手に分かりやすく、工夫して発表できたが、質疑応答の中で研究の不備が見つかった。まだまだ課題が残った。
- * 声やジェスチャー、話のテンポなどを意識して人の関心をひきつけるように工夫した。
- * パワーポイントを使って分かりやすいように説明できた。図や動画を使用し、与えられた時間の中で内容をしっかり伝えられた。質問にも柔軟に対応できた。
- * 自分の担当のところについては上手く説明できたと思うが、その他の部分に対する説明、理解についてはもう一踏ん張りすべきだったと思う。
- * 多くの人とディスカッションして、知見を深めることができた。聞き手としっかりとコミュニケーションをとって、十分に説明することができた。今後の展望を明確にすることができた。
- * 補助資料を活用して信憑性をもたせた。英語での発表に挑戦できたが、あまり相手に伝わっているという感覚が持てなかった。



- * 他の研究を見て、もっと出来たのにと悔しい気持ちが強いです。ただ今後、更に探究活動が重視され、その経験を活かせると思うので、この反省を生かしたい。
- * 最初、発表は嫌だなと感じていたけれど、やっているうちに、聞き手に自分たちの考えを伝えていくのが楽しくなった。